

事務事業名		図書館資料収集保存事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業		
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		
	施策名	14 生涯学習の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～)		
	基本事業名	02 学習機会の充実		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令		図書館法		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 05 05 10		
所属	部課名	企画政策部図書館		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
	課長名	千葉博世				
	係名	奉仕係	電話			26-4478
	担当者	佐々木達也	内線			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 社会情勢や市民要望を見極め図書館資料を収集し、適切に保存管理し、提供することによって、市民の知る権利に基づく学習や人間形成、市全体の教育・文化の向上を図る。また、市民や市の貴重な知的資料として後世に伝承・保存する。 主な業務は次のとおり。 ・図書館資料の収集(選書、購入) ・図書館資料の保存(登録、装備、データ管理、配架、補修、保存保管) ・図書館資料の提供(貸出、レファレンス) 事業費は、図書購入費、修繕のための消耗品費等に支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア 購入冊数 冊 イ 寄贈図書登録冊数 冊 ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動) 社会情勢や市民の要求を見極め、図書館資料の選書・購入と、登録・管理。資料の保存・提供。		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 蔵書冊数 冊 キ 図書館利用登録者数 人 ク	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様。			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 図書館資料の貸出点数 点 シ ス	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			
この事業によって、市民が、知識や情報を得ることができ、学習や人間形成を図れる。また、市民や市の貴重な知的資料として、後世に伝承・保存できる。			
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
市民の、豊かな暮らしや、市全体としての教育・文化の向上が図られる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	8,321	8,154	8,299	8,299	8,299	8,299
		事業費計(A)	千円	8,321	8,154	8,299	8,299	8,299	8,299
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
		人件費計(B)	千円	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
		トータルコスト(A)+(B)	千円	15,121	14,954	15,099	15,099	15,099	15,099
⑤ 活動指標		ア 冊	2,708	3,125	3,281	3,281	3,281	3,281	
	イ 冊	937	1,448	1,520	1,520	1,520	1,520		
	ウ								
⑥ 対象指標	カ 冊	144,796	148,400	155,820	155,820	155,820	155,820		
	キ 人	13,823	14,618	15,348	15,348	15,348	15,348		
	ク								
⑦ 成果指標	サ 点	153,641	150,653	158,185	158,185	158,185	158,185		
	シ								
	ス								

事務事業ID	0883	事務事業名	図書館資料収集保存事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
市民への知る権利に基づく知識や情報の提供を通し、市民の豊かな暮らしや、市全体の教育・文化の向上をめざし、昭和27年に図書館を開設し、開始されている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
関係する法令も整備され、時代の変遷とともに、市民の図書館への意識や要求も変化しており、対象者も、児童・生徒や社会人のみならず、乳幼児、女性、子育て世代、就活世代、高齢者など、多様な世代や分野へのサービスが望まれ、これまでの教育・文化施設の域を越え、総合的な情報・交流施設へと、取り巻く状況は一層重要性を帯びてきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
図書館利用者や議会等からは、質の高い蔵書形成やサービスの提供など、資料の収集保存をはじめ、図書館のより一層の充実が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

有効性評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	市民のの学習や人間形成、市全体の教育・文化の向上につながるもので、市の政策体系と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	資料の収集保存は、市民の暮らしや、市全体の教育・文化の向上につながるものであり、これを個人や民間で行うのは困難で、安定し充実した事業展開を図っていくうえで、公共の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	市民を対象としており、現状で適切である。
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	質の高い適正な資料の収集保存を行うために、人員体制や研修の拡充整備が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	市民が、知識や情報を得る機会が無くなることによって、個人の学習や人間形成を図る機会や、市全体の教育・文化の向上が図られなくなり、影響がある。
効率性評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	社会の情報日々変化しており、むしろ市民の意識や要求も高まってきており、それに応えるために、これ以上の事業費の削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	市民人口、蔵書規模、利用者数、専門知識や技術の特性、良質なサービス提供などからみても、現在の体制は充分でないうえ、これ以上の削減は困難である。
	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	図書館における、サービスの無料化は、事業の特性をはじめ図書館法に基づくもので、資料の収集保存は、市民全体を対象としており、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 購入及び献本により蔵書冊数を増やし、必要な図書を確保するとともに、職員研修等により、選書技術の向上を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	図書館における、資料の収集保存は、市民の学習や人間形成、市全体の教育・文化の向上を図る上で、大変有意義なものであり、また、市民の図書館に対する意識や要求も変化し、益々重要性を帯びてきていることから、現在の状況を維持しながら一層の充実が必要と思われる。